

東土木課長の 不徹底極る辯明書

縣廳内にて批難の聲起る 直ちに反駁文起草

發電所不當許可問題に關し
東土木課長は平町の反對運
動益々火の手を揚げ殆んど
其終止する處なき迄に擴大
した爲めいゝさか狼狽し苦
心慘澹漸く今頃になつて始
めて

辯明書

なるものを
發表したが其文面を見るに
机上推定の跡歴然として餘
りに實際とは縁どほく恰も
二階から尻あぶりのな不徹
底極るものである爲め反つ
て關係筋の激憤を招き縣廳
内にも批難の聲が起つた程
であるから知事歸廳後には
更らに一層の

紛糾を醸すに至る

子供に又し靴を はかせるのが悪い

其爲めに腎臓を胃される
夫れがまた心臓に影響

じめ／＼とすうら寒い梅雨
は圓満に來た形だそればかり
では無い氣象臺では『今
年はウンと降りさうだ』と
云ふ、さうした中にチブス
の勢ひは益々
猛烈を 加へ子供の
麻疹もまだ歇みさうもない
殊に子供にぬれ靴をはかせ
る事が一番悪い、それは一
日中ぬれ靴を穿いて居るこ
とが元でよく子供が腎臓を
胃される例があるからであ

る腎臓位大したことでもな
ささうに見えるが、それが
亦心臓に影響することは
非常な ものだから
靴は二足を用意するに越し
たことはないが、それが出
來なければ一足はゴム靴に
しなほ一足だけならよく乾
かし靴下は二日目位に洗濯
して之もよく乾いたのを用
ゐさせるやうにすればよろ
しい、腎臓の胃された
最初は 尿量は俄に

常磐片々

東土木課長愚にもつかぬ辯
明書を公表して『ドンナモ
ンダイ』と云つた調子
變ナモンダイと御返事申す
變テコな辯明書は先づ我慢
するとして後の文句が氣に
食はぬ
『絶対許可は取消さぬ覺悟
だ』と
こんな脅かし文句で兵兒た
れる程平町民はお人好しで
は御座らぬ

兵兒たれぬ處が斯ふなれば
意地づくでも戦ふ
虎の威を笠に着た俗吏が横
車を押して迄勝手な熱を吹
かすから危険思想も芽を出
す事になる
東クン此頃の寢覺はどうだ
勿論許可取消
は望む所なり
白銀有志釋明
平町白銀町有志は發電所不
當許可問題に就いて企業社
擁護の如く世間より誤解さ
るるを遺憾とし勿論發電所
の許可取消しは是れを望む

減少しそれから氣分が悪く
なつて眼のふちにうるみが
出来る、そんなのはよほど
注意する必要がある(市原
磐城病院院長談)

鎌田遊廓の宿帳に 現れた壯丁の自覺

遊興者が絶無の好現象
堅實な心意氣を見せて
遊興の形跡なく之は壯丁各
自の自覺や監督者の監視よ
ろしきに依つたことであら
うが最近の宿害にたゞられ
たこともその原因の一をな
して居るであらうと此方面
消息通觀察である

一斗樽を用 規則の改正で

從來各商店で難穀類を販
賣する際一斗以上の買入
れ者に対し一斗樽を用ひ
十回計り一斗となし賣り
出してゐたが来る七月一
日から規則が改正されて
一斗購入者には必ず一斗
樽を用ひなければならぬ
ことになり若し之に反し
た場合には二十五圓以下
の罰金又は科料に處せら
れることになつた

カテイラン

雨具の手入れ方

セルなどの物でしたらば、
必ず一度風に入れしめり
けのないやうにしてそれが
らブラッシュをかけて埃や
汚点を取りますそして雨に
ぬれて縮んだものは必ず
アヒロンをかけますと、常
に新しくなつて居ります

處であるが慎重調査を遂ぐ
るを可とする意見を抱藏す
るものであるとの理由書を
各方面に配布した
小名濱に
チブス
一時に五名
石城郡小名濱町島田とも
同町宇古港船橋とも(一)同
町小野なつ(三)同町志賀
の(三)の長男年雄(九)の
五名は十二日腸チブスと決
定何れも同町隔離病舎に収
容されたが斯く一時に多數
の患者を出したる例がなく
更に蔓延の兆があるので同
町では非常に狼狽し警察當

磐銀の重役會 磐城
銀行にては既報の如く頭取
白井博之氏が農銀頭取に就
任決定したため後任頭取
の推薦に關し本日午後一時
から重役會を招集協議した

自働車隊の 行軍中止

平役場に電報
世田ヶ谷自働車隊は仙臺へ
の行軍途中本日平町に到着
宿營すべき豫定であつたが
雨天悪路の爲め中止すべき
旨平役場に電報があつた

不平受付

出縣町議が二等車
所許可取消運動の爲め出福
した町會議員等は二等車に
乗つて行つたさうですが町
の利益を圖らんが爲め出張
するのであるのみならず此
場合少くも無駄な金を費
消せぬ覺悟で當然三等車へ
乗るべきだと思ふ(一町民)
伏見助役の答 十數名
の一行が車中に於て種々
打合せ協議すべき件もあ
りますので三等車では總
べての都合が悪く爲めに
二等車に乗車したのであ
りまして發着のためには二
等車に乗車したのではあ
りません

海苔の貯へ方

ノリを濡らぬやうに貯へて
おくには、ブリキ罐の底に
煎麥をしき、その上にノリ
を入れてきつちり罐の蓋を
しておくのが一番です。葉
灰を布袋に入れてしよくの
よい方法です。

郡内の 田植え始る

去る十日から
石城郡山田村上山田方面に
ては昨日より田植を始め
たが郡内にての皮切りで一
般は十七八日頃であらうと

品目	單位	價段
白米(一等)	一升	四四〇
白米(二等)	同	四二〇
白米(三等)	同	四〇〇
白麥	同	三三〇
平麥	同	三〇〇
味噌(並)	一貫匁	七〇〇

平町人事

△新川町 當時東京在郡目黒町林
宗益氏長女芳枝
△柳町 萩原末松氏四女松子
△手ツカミ 井坂晴國氏二男晴次
△四丁目 若松龜八氏(一)茨城縣
磯濱町小松(一七)

募集
文藝其他一般投
稿を募集します